

# 進路だより

伊万里実業高校

商業キャンパス進路指導部

## 1 進路啓発研修（1年）

10月18日（火）、進路啓発研修として、1年生が中村学園大学と麻生塾を訪問しました。『進路啓発研修』は、上級学校や企業を直接訪問し見学等を行うことで、その雰囲気等を体験し、進路決定への動機付けや職業観の形成のきっかけとするもので、今回は進学に向けての研修となりました。3年ぶりの研修は、中村学園大学では、概要説明・施設見学・卒業生との交流を、麻生塾では、全体説明・希望コースでの研修を行い、各校での有意義な時間を過ごすことができました。大学の華やかさや専門学校の施設設備の充実さ等を目の当たりし、卒業後の進学のイメージを持つことができたのではないかと思います。3学期には、就職に向けた企業訪問を計画しています。1年生は、進路意識をさらに深め、自分の進路確立に向けて、日々、学校生活を充実させていきましょう。



施設見学



体験実習(ゲームプログラミング)



体験実習(テーブルマナー)

## 2 内定・合格体験記（就職 Part1）

9月16日から始まった就職試験も終盤に入り、多くの3年生が内定を頂くことができます。進学も10月より入学試験が始まり、これから短期大学と大学の入学試験が始まります。そこで、今号から、内定・合格体験記を掲載していきます。3年生が進路決定まで取り組んできたことなどを紹介します。1・2年生は、これから、自分の進路について考える機会が増えてきます。3年生が進路実現に向けて取り組んできたこと、心掛けてきたことを参考に、学校生活を送ってください。



【トヨタ自動車九州株式会社（生産スタッフ） 池田 慎（伊万里中出身）】

私は、入学時より就職を希望で、3年生になって製造職に就きたいと思  
いました。そこで、先生方や家族と相談し、トヨタ自動車九州（株）の  
受験を決めました。トヨタ自動車九州（株）は、本校からの内定実績もあり、自動車製造  
メーカーとして高い技術力を有し、世界へ最高品質の『レクサス』を供給しているなど、  
多くの魅力とその仕事のやりがいを感じ受験を決めました。



受験にあたり、受験報告書などを参考にして対策を行いました。筆記試験は、朝自習で  
行っていたSPIをきちんと解き、面接は、過去の質問を中心に練習し、回数を重ねるこ  
とにできるようになりました。試験本番では、筆記試験は問題が多かったため、正確さだ  
けではなく解答の速さも求められましたが、朝自習での対策で対応できました。面接は、  
拳手制であったため、積極的に答えました。

進路実現のためには、成績（評定）や欠席が大きく影響すると思います。また、試験で  
は想定外のこともあるため、対応力を必要となります。日頃の学校生活を当たり前きち  
んと過ごすことが大切だと思いました。



【日清紡マイクロデバイス福岡株式会社（電気機械器具製造） 飛松 真織（山代中出身）】

私は、福岡県での就職を希望していました。そのため、3年生になって急いで求人を探  
すのではなく、2年生になってすぐに余裕をもって求人を探し始めました。そして、多く  
の求人の中から日清紡マイクロデバイス福岡（株）を見つけました。日清紡マイクロデバ  
イス福岡（株）は、健康経営優良法人に2年連続で認定されるなど福利厚生が充実し、ま  
た、応募前職場見学に参加した際、従業員の方々が、3交代の勤務体制にもかかわらず、  
元気に仕事に従事され、ワークライフバランスが整ったところに魅力を感じ受験を決めま  
した。

就職試験に向けて、特に力を入れたことは面接練習です。私は、面接が大変苦手であっ  
たため、志望動機は確実に覚え、他の質問はキーワードを覚えて、自分の言葉で答えるこ  
とができるように何度も練習をしました。先生から「もっと詳しく」と何度も指導を受け  
ましたが、練習を重ねていくうちに自分の言葉で詳しく答えることができるようになりま  
した。筆記試験対策は、問題集を借り、学校での空き時間や帰宅後の時間を利用して勉強  
しました。

試験当日は、緊張しましたが、練習通りにできました。面接では、後悔だけはしたくない  
という気持ちで受けたため、アピールをしっかりとすることができたと思います。練習も  
本番と同じ気持ちで取り組むことが大拙だと思いました。

裏面に続く

## 【株式会社インフォグラム（SE・PGインターネット技術者） 山口悠貴（啓成中出身）】

私は、3年間の情報処理科での学習を通して、プログラムへの興味が深まり、将来、プログラマーとして地域に役に立ちたいと思いました。（株）インフォグラムは、伊万里市に進出され、伊万里開発センターの設置により、ITの力を使って地域活性化に貢献されています。私も地域のために頑張りたいと思い、（株）インフォグラムへの受験を考えました。

受験までに取り組んだことは、面接練習です。受験報告書をもとに、過去の質問や想定外の質問にも焦らずしっかりと答えることができるよう何度も練習しました。また、応募前職場見学へ参加し、会社の雰囲気を知ることによって試験に落ち着いて臨むことができました。

試験本番では、面接がオンラインで実施され、慣れない環境でしたが、焦らず答えることができ、十分に面接練習をしていてよかったと感じました。そして、自分の言葉で答えることが大切だと思いました。

## 【株式会社SUMCO九州事業所（一般事務） 栗原美来（西有田中出身）】

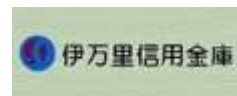


私は、高校で学んだ簿記や情報処理などの知識を活かした事務関係の仕事に就きたいと思っていました。（株）SUMCOは、精密機械をはじめあらゆる電機製品に使用されている半導体の半導体用シリコンウェーハを製造され、国内外において私たちの生活を支えられています。また、福利厚生や休暇制度も充実し、女性にも働きやすい職場環境であり、やりがいと魅力を感じ受験しようと思いました。

受験までに一番頑張ったことは、面接練習です。初めの頃は質問されたことにうまく答えることができませんでしたが、多くの先生方に指導していただき、その時アドバイスを受けたことはメモするなど、何度も繰り返し練習をしました。筆記試験は、SPIと作文があり、SPIは朝自習の時だけでなく、何度も問題を解きました。作文は、事前に国語科の先生に指導していただき、対策をしました。

受験時は、特に面接で緊張しましたが、練習の甲斐があって、落ち着いて伝えたいことを伝えることができました。

## 【伊万里信用金庫（金融事務） 脇山もか（青嶺中出身）】



私は、地元伊万里の発展に貢献できる仕事をしたいと考えていました。伊万里信用金庫は、地域に密接した事業をされており、地元企業や私たちの生活を支える重要な役割を担っておられるところに魅力を感じました。また、高校で学んだ簿記などの商業に関する知識を活かせると思い志望しました。

受験までに特に取り組んだことは、面接練習です。伊万里信用金庫の試験での面接は、質問項目が他の企業よりも圧倒的に多く、そのため、最初はうまく質問に答えることができませんでした。しかし、多くの先生方から指導していただき的確なアドバイスを教えていただいたことで、練習をしていくうちにうまく答えることができるようになりました。そのほかにも、笑顔で答えるなど表情にも意識して練習をしました。

試験当日は、これまでの練習のおかげで、緊張の中、焦らずに笑顔で答えることができました。また、受験報告書を何度も確認していたため、答えづらい質問もあまりなく、しっかり答えることができました。

### 3 行事予定（進路関係）

11月 8日（火）～10日（木）

選択科目説明会（1・2年）

※2年生は自分の進路希望をもとに選択すること

12月 6日（火） 高校生の進路に関する説明会（2年：AM）

※唐津市で開催

8日（木） 進路報告会（1・2年：6限目）

16日（金）～22日（木）

三者面談（PM）

